

## 監査法人入社後1年を振り返って

監査法人トーマツ大阪事務所 パブリックセクター部門所属 木戸 裕子

私は、2007年3月に関学ASを修了、同年11月に公認会計士試験に合格し、現在監査法人トーマツのパブリックセクター部門に所属しています。入社後すぐの配属にはとても迷ったのですが、関学ASで学ぶ間に地方自治体会計にとっても興味を持つようになり、是非ともこれに関する仕事がしたいと強く思っていたため配属を希望しました。私の所属する部署では、学校法人監査や独立行政法人監査、地方自治体の包括外部監査、行政評価や学校評価など、監査だけでなくコンサル業務も多くあります。



それぞれの会計とそれに伴う監査はとても独特です。たとえば、独立行政法人のPLでは、利益獲得目的ではないことから、発生した費用をどれだけ独自の収益で賄えたのかを知るために費用の次に収益が記載されますし、固定資産を取得した際には財源によってその会計処理が異なります。また、地方自治体においては最近まで複式簿記ではなく、単式簿記が採用されていました。車両が廃棄されても現金の動きがなければ会計処理は必要ではなかったのです。

それぞれの会計の目的が異なるために、これまで受験勉強で学んできた企業会計とは大きく異なるので難しく感じますが、この分野の会計や監査は、今後の発展がとても期待されており、とてもやりがいを感じています。

私は現在育児休暇中で、生後四ヶ月の男の子を育てています。来月から復職予定で、仕事と育児の両立ができるのかとても不安ですが、私の職場には育児経験のある女性会計士の先輩が複数いらっしゃるのでもっと心強いです。努力の末に会計士試験に合格したことが私の自信になり、この自信が未体験の出産・育児への勇気となりました。努力の結果はきっと皆さんの自信になり、さらなるステップへ進む勇気になることと思います。



2008年公認会計士試験合格祝会・懇談会にて